



千葉県高等学校PTA連合会

ちば高P連だより

第90号

〒263-0011 千葉県千葉市稲毛区天台町2-8-5
 県総合スポーツセンター宿泊研修所内
 TEL 043(255)0687 FAX 043(255)0681

URL: <http://www.chikoupren.jp/>
 E-mail: chibakoupren@nifty.com



令和五年十一月十五日(水)千葉県教育会館大ホールにて、第五十九回千葉県高等学校PTA研究会が開催されました。千葉県教育庁教育振興部生涯学習課社会教育振興室主幹兼室長 佐久間守一様をはじめとするご来賓の方々にご臨席を賜り、また県内PTA会員も多数参加され、活気ある集会となりました。

午前の講演は、「思春期の子どもの接し方3つのコツ」と題し、ハッピーママトレーナー 齋藤ひとみ様にご講演をいただきました。



第59回県高P研究集会報告

県高P連副会長 高階めぐみ

(千葉県立若松高等学校PTA会長)

齋藤様は東金市を中心に、千葉県内や東京都で活動されており、ママ・パパを初め子育てに関わる方やコミュニケーションスキルアップを必要とされる方をサポートしており、子育て世代にとってとても親しみやすく、会場も和やかな雰囲気になっていました。

1. 親が笑顔でいること
2. 子どもの力を信じること
3. 子どもから逃げない

ことの三つを教わり、親の役割として、子どもの「生きる力」すなわち自立した人間を育てることの大切さを学ばせていただきました。

午後は発表校四校の皆様から、それぞれのテーマに添ったPTA活動についての発表がありました。恐縮ながら、私の方では前半二校の発表助言をさせていただきます。

各校地域や環境の特色を生かした活動をされており、子どもたちが安心して学べる雰囲気づくり、安全に通うことができるための取り組みなど、参考にさせていただきたい内容が盛り沢山の発表内容でした。

私たち保護者が子どもたちの全てをサポートすることは容易では

なく、やはり学校と保護者・地域との歩み寄りや情報共有がとても大切だと感じました。

最後に、子どもたちの明るい未来に向けて、さらにより良い活動をしていきたいと感じられる、素晴らしい研究集会に参加することができたことに感謝申し上げます。



東総地区研究集会について

県高P連理事 平原哲哉

(千葉県立佐原高等学校PTA会長)

令和五年十一月十日(金)、本校は、今年度東総地区の筆頭理事校として、香取市の「みんなの賑わい交流拠点コンパス」小野川ホールを会場に、地区研究集会を開催しました。東総地区内高校十校から五十七名が参加し、とても有意義な集会となりました。当日の日程は次のとおりです。十四時三十分～開会行事。

十四時四十分～PTA活動報告。十五時四十分～講演講師「弁護士松本隆氏演題「現役弁護士がお伝えする『知ってトクする法律トーク』」。

各校のPTA活動報告では、どの学校も、コロナ開け三年間のブランクがあり、手探りで活動しているようでした。松本氏の講演では、身近にある法律関係の話に皆さん真剣に耳を傾けていました。



た。巡回途中、生徒が地域清掃ボ



市川地区

千葉県立市川工業高等学校 P T A

会長 柴 崎 かほる

本校における今年度の列車内指導は、昨年の七月二十日の終業式の日に実施しました。

二班に分かれ学校を出発し、最寄り駅の J R 本八幡駅に向かう途中、生徒の立ち入りそうな店や公園などの巡回指導も合わせて行いました。

また、十二月二十二日の終業式

の日には、生徒の地域清掃ボランティアに P T A として同行しました。多くの生徒が自ら積極的に地域清掃ボランティアに参加し、活動している姿を見て感心しました。また、普段接することのない生徒と会話しながら活動ができた。よい経験となりました。これは、学校だけでなく家庭や地域社会との関係がしっかりとれているからではないかと思われました。以上、活動報告とさせていただきます。ありがとうございます。

○分に集合し、君津地区高等学校校外補導員連絡協議会会長の御挨拶の後、学校ごとに分かれて花火大会が行われる港方面に徒歩で向かいました。

途中あいにく雨に見舞われることもありましたが、四年ぶりの開催ということで、多くの人で賑わっていました。

また、本校では毎年四月から翌年二月までの期間に、生徒の登校時に毎月一回保護者が集まり、学校から久留里駅までの通学路について久留里駅での挨拶運動と清掃活動を兼ねた巡回指導をしています。



木更津港まつり巡回前 (君津青葉高校 P T A)

君津地区

千葉県立君津青葉高等学校 P T A

会長 オノミチ 三由紀



木更津港まつりが八月十五日(火)に行われ、それに伴う木更津駅周辺及び会場周辺の巡回を君津地区高等学校の P T A で行いました。参加者は、合計七十一名でその内訳は保護者が三十一名で職員は四十名でした。

千葉県立木更津東高等学校に午後六時三十分集合し、君津地区高等学校の校外補導員連絡協議会会長の御挨拶の後、学校ごとに分かれて花火大会が行われる港方面に徒歩で向かいました。

また、本校では毎年四月から翌年二月までの期間に、生徒の登校時に毎月一回保護者が集まり、学校から久留里駅までの通学路について久留里駅での挨拶運動と清掃活動を兼ねた巡回指導をしています。

す。これからも、地域と学校の活動だけでなく、日頃から高校生の安全に目を向けて行きたいと思えます。

第70回関東地区高等学校 P T A 連合会大会千葉大会 日程表

区 分		期 日	時 程	行 事 内 容	会 場
千 葉 大 会	全 体 会	7月23日 (火)	10：30～11：50	受付	国際会議場2F コンベンションホール
			11：50～13：00	アトラクション 〈出演者〉 ・千葉県幕張総合高等学校 シンフォニーオーケストラ部 ・柏オヤジダンサーズ	コンベンションホール 国際会議室(映像配信)
			13：15～14：15	開会式 表彰式 大会宣言文採択	
			14：25～16：00	記念講演「高校生の問題行動」 一般社団法人スクールポリス 理事 佐々木 成三氏	
			16：00～16：10	事務連絡	
			16：10	閉会	
	分 科 会	7月24日 (水)	9：00～9：30	受付	国際会議場2F・3F
			9：30～11：40	分科会	各分科会会場
			11：40～11：50	閉会式	各分科会会場
	教育視察			12：30～	教育視察（参加申込者）

平素より千葉県高等学校 P T A 連合会の活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。さて七月に開催する関東地区大会の日程が左記のように決まりました。い申し上げます。



第70回関東地区高等学校 P T A 連合会大会
千葉大会のご案内

した。四月には大会の概要並びに参加申込み方法についての文書を各校に配付致します。開催県としてより多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

高文連
紹介

感謝の気持ちを忘れずに

千葉県立成田国際高等学校箏曲部 石井 くらう

私たち成田国際高校箏曲部は、大会や演奏会でより良い演奏をすることを目標に日々活動しています。

昨年の全国大会では、文化庁長官賞をいただき、上位四校として八月に国立劇場で行われた東京公演で演奏させていただきました。二年生にとつて尊敬する先輩方と国立劇場の大舞台で演奏できたことは本当に嬉しく、自分たちの代でもここまで結果を残せるような良い演奏をしたいという強い気持ちが芽生えました。

十一月の県大会に向けての練習では、二十四人という大人数で複雑な大会曲を仕上げる難しさから、常に不安を抱えていました。しかし、講師の先生が一音ずつ向き合いご指導してくださったので、日を重ねるごとに自分たちの演奏に自信を持つことができたようになります。

また、夏に引退された先輩方も練習に付き合ってください。全体的に個人まで



細かなアドバイスを含め、何度も温かい励ましの声をかけていただきました。そのような手厚いご指導のおかげで、私たちは迫力ある演奏を仕上げることで、県大会では目標であった最優秀賞をいただくことができました。

私たちが日々練習に打ち込むことができてるのは、周りで支えてくださる方々のおかげです。講師の先生は私たちの気持ちを一番に考え、よりレベルの高い演奏へと導いてくださいます。顧問の先生はいつでも私たちの側で、安心して活動できる環境をつくってくださいます。そして、部活引退後も温かくサポートし続けてくださる先輩方や、いつも応援の声をかけてくれる家族や友達にも、感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちの活動を支えてくださる方々に恩返しができるよう、今年の全国大会でも良い結果を残したいと思っています。そのためにこれからも周りへの感謝を忘れず、懸命に練習に努めていきます。

今を
輝く

高校生の声

高文連
紹介

一射入魂

千葉県立佐原高等学校弓道部 葛原 美優

私たち佐原高校弓道部は、二十三年で男女一緒に練習しています。県大会では入賞歴が多く、去年の夏では、男女団体ともに県大会で優勝をし、インターハイに出場しました。

男子はインターハイでも八位入賞を果たしました。また冬の新人戦では女子団体が県大会優勝、全国選抜大会で、三位の結果になりました。個人でも入賞をし、活躍している人が多くいます。しかし部員全員が初心者で、一から弓道を始めています。ここで弓道の魅力について話したいと思います。

弓道の魅力は、その美しい動作と精神的な成長にあります。高校生にとつて、弓道は身体と心を鍛えるだけでなく、礼儀や忍耐力も育む素晴らしい機会です。矢を放つ瞬間に心が静まり、集中力が高まる感覚は、他のスポーツでは味わえないものです。試合では勝敗よりも相手への敬意や自己の成長を大切に、謙虚さを学ぶことも重要です。

決して単なる競技ではなく、人間形成にも大きく貢献する貴重な経



験となります。私たちも、日々の練習で、お互いに指導し合いながら一本一本集中して取り組んでいます。自分の射を他の人に見ても、自分では見つけられない弱点を見つけることができ、また、その中でいろいろな人とコミュニケーションをとることで、客観的な視点で物事を捉えることができるようになります。

的に中らなくなったり、上手く行かなくて、悔しい思いもして、涙を流すこともあります。それでも、中つた瞬間の喜びは、他のどんなことよりも大きく、言葉では表せないくらいです。

私たちが、ここまで来れたのは、顧問の先生や、家族、地域のひとなど、いろいろな方に支えられているおかげです。これからも、その方たちへの感謝を忘れずこれからも練習に取り組んでいきたいと思っています。そして次の全国大会では、佐原高校初の「全国優勝」を目指し一射一射大切に引ききたいと思っています。



後援事業報告①

第17回 高校生理科研究発表会

「ポスト・コロナ型
ポスターセッション」に
千葉大学高大連携支援室
特任教授 秋本 行治

千葉大学主催「第十七回高校生理科研究発表会」が九月三十日（土）、文部科学省・千葉県及び千葉市教育委員会をはじめ、千葉県高等学校PTA連合会、千葉県高等学校校長協会、千葉県高等学校教育研究会理科部会等多くの団体の共催・後援・協賛を得て開催されました。

コロナ禍にあつて、大幅な規模縮小を伴う変則的開催が続いておりましたが、今年度は、久しぶりにコロナ禍前に近い形で実施できました。今回は四年振りに体育館を会場に対面式ポスターセッションを再開、感染症等対策として午前から午後で発表生徒を入れ替え、発表資料のオンライン掲示も併用し、ポスト・コロナの実施形態となりました。

物理や化学など八分野の研究発表募集に対して、全国の四十九校から三〇五件の応募があり、前回の申



込数を超過しました。発表会当日は、参加高校生は六七六名に登り、発表者や審査委員



のほか、高校や大学の先生、後援・協賛団体の見学者の方々を合わせ、合計九〇六名に参加していただけでした。

会場では、各参加者が活発に質疑応答を交わし、すべての研究発表に対し、科学研究や教育の第一線で活躍する審査委員の先生方から、直接口頭により、研究の良い点や改善点等のコメントが頂けました。参加する生徒一人一人が、更に研究を進めていく上での有益なアドバイスを得られました。

また、四年振りに「最優秀賞」「千葉大学長賞」等の特別賞も復活、五十五件の優秀な研究発表に対して賞が贈られました。

千葉県高等学校PTA連合会からは、英語による最も優れた発表に贈られる「会長賞」を贈呈して頂きました。

今年度は、渋谷教育学園幕張高等学校の大槻優奈さんが化学分野「温度変化による水とAl-Ga合金の反応からの水素発生方法」で受賞しました。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

後援事業報告②

第27回 英語・日本語弁論大会

令和六年一月二十九日に千葉県総合教育センターにて、国際教育研究部会主催の第二十七回日本語・英語弁論大会を開催いたしました。新型コロナウイルスの影響で三年ぶりの対面開催となった昨年度の大会に続き、今年度も無事に対面形式にて開催することができました。

なお、これまでの英語弁論、日本語弁論、留学生・外国人生徒による日本語弁論の三部門に加え、今年度よりプレゼンテーション部門を加えた四部門で実施いたしました。県内八校より三十名の参加がありました。

各部門の入賞者は、以下の通りです。

第一部門 英語による弁論

- 一位 木戸悠美子（敬愛学園高校）
[The Price of Chocolate]
- 二位 候テンシヨウ（翔凜高校）
[Pray for Understanding]
- 三位 羅 鴻琢（翔凜高校）
[Learning Differences]

第二部門 留学生による弁論

- 一位 寺内 アンヘル サクヤ（県立幕張総合高校）
[多文化共生を身近なものに]
- 二位 関 安迪（翔凜高校）
[選択]
- 三位 サブコタ アリナ（市立柏高校）
[You Can Do It!]

第三部門 日本語による弁論

- 一位 小椋 俊貴（敬愛学園高校）

- 二位 坂井 遥香（敬愛学園高校）
[顔の見えない殺人犯]
- 三位 鈴木 琶子（敬愛学園高校）
[勤労の代償]

第四部門 プレゼンテーション発表

- 一位 張 慧然・鈴木 玲未優（翔凜高校）
[女性に選択の自由を！]
- 二位 Yaiti Thant・Cassandra Cahabug Kusum Khatri・Arden Durand（県立成田国際高校）
[ここがヘンだよ日本人！]
- 三位 小野瀬優希・大串 悠斗・吉井 瑠那・尾井川鈴加・高橋 舞圭・マヒラアテサワダ（県立流山おおたかの森高校）
[International Understanding and Exchange of High School Student]

なお、第一～三部門の入賞者のうち、資格を満たす者は関東甲信越静地区弁論大会へ千葉県代表として出場いたします。第四（プレゼンテーション）部門については、入賞グループ（個人）を次年度開催の第六十一回全国国際教育研究大会宮城大会における「高校生国際理解・国際協力に関する研究発表会」部門に、千葉県代表者として推薦いたします。

また、昨年度の弁論大会を勝ち抜いた5名の、関東甲信越静地区大会での成績についても、ご報告いたします。

英語発表部門

- 第四位 大畑 心晴（千葉英和高校）

日本語発表部門

- 第一位 関 越童（翔凜高校）

- 第三位 寺内 アンヘル サクヤ（幕張総合高校）
国際理解研究発表会
- 第一位 坂口 心優（専修大学松戸高校）
- 第二位 菊地 恋羽（翔凜高校）

このうち、日本語発表部門に出場した翔凜高校の関さんが、八月に行われた第六十回全国国際教育研究大会愛媛大会において、見事「国際協力機構理事長賞」を受賞いたしました。これにより、留学生による日本語発表部門においては、六大会連続の全国大会出場となりました。

今後とも、弁論大会参加生徒への応援をよろしくお願いいたします。



ねえ、
知ってる？
うちの
学校

高・大・産で地域連携！

千葉県立実籾高等学校 二年主任 吉浦鉄二

本校では、「スポーツの力を通じて習志野市を盛り上げる」ことを目的に、千葉商科大学、そして本校と同じ習志野市を本拠地とする日本社会人アメリカンフットボールXリーグ（以下、Xリーグ）所属のオービックシーガルズと連携し、同チームのグッズ開発を目標に「総合的な探究の時間」を実施しました。



なっていることから、ソーセージを絡めた新たな商品開発に取り組みました。

本校では毎年、様々な外部団体と連携、協働し「総合的な探究の時間」を展開しております。昨年度は桜美林大学と連携し、某大型テーマパーク内でのフードメニューの開発等について、探究活動を実施しました。



今年度は二〇二三年十一月から二〇二四年一月にかけて、本校の地元、習志野市を拠点とするXリーグ所属の「オービックシーガルズ」そして「千葉商科大学サービズ創造学部スポーツビジネス・プロジェクト」と連携した活動を行いました。また、習志野商工会議所が普及しているご当地グルメ「習志野ソーセージ」の応援団にオービックシーガルズが

探究活動への意識づけの契機としてオービックシーガルズのホームゲームの観戦（希望者）を行ったり、千葉商科大学の学生から情報収集のヒントや商品開発の進め方、発表資料の作り方、ロゴやキャラクターの使用上の注意点等の講義を受けるなどの活動を実施しました。活動のまとめとして、六十四のグループがオービックシーガルズ関係者等に向けてポスターセッションを行いました。多くのチームグッズ案について提案があり、活発なプレゼンの様子は複数のメディアに紹介されたところです。



これらの高大産連携に取り組む中で、活動の場が校内に留まることなく、常に現場を意識したものとなるよう、生徒に働きかけました。今後、自分たちの校内の活動が校外社会では、どのような意味を持っていくのか、どのような形で社会貢献が可能なのかということらを自ら気づくことができるよう、活動を展開してまいります。

マングローブの森づくり。
それは、豊かな地球を
未来に届けること。

マングローブ価値共創100年宣言

東京海上日動
www.tokiomarine-nichido.co.jp

AIG 損保

MS&AD 三井住友海上

安心のゴールキーパーでありたい。

GK

クルマの
保険

すまいの
保険

ケガの
保険

損保ジャパン
SOMPO Innovation for Wellbeing

Innovation
for Wellbeing

すべての人々の幸せと、
より良い社会のために。
私たちは、
笑顔と活力あふれる「確かな明日」へ、
イノベーションを起こし続けます。

損害保険ジャパン株式会社
https://www.sompo-japan.co.jp/



いすみ市と学校がかかえる課題をともに解決できる取組として『いすみ留学』を思いつきました。

大原高校には専門学科である海洋科学系隣の勝浦若潮高校と岬高校との三校による統合で大原高校は生まれ変わったのですが、それでも生徒数は減少し続け、現在は約二八〇名です。

大原高校の生徒数も同様で、八年前、近隣の勝浦若潮高校と岬高校との三校による統合で大原高校は生まれ変わったのですが、それでも生徒数は減少し続け、現在は約二八〇名です。

私が所属しているインターアクトクラブは、大原ロータリークラブの支援を受け、地域での様々な活動に取り組んでいます。その活動の一環として、『いすみ留学』というビジネスを考え、「第十回高校生ビジネスプラン・グランプリ」において、全国ベスト一〇〇として表彰していただきました。

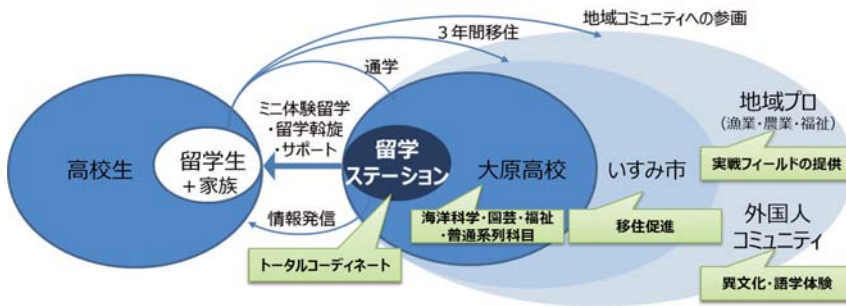
私たちががんばります

『いすみ留学』の取組

千葉県立大原高等学校インターアクトクラブ 齋藤 天晴

列・園芸系列があり、さらに海洋・園芸のプロたちが学校のすぐそばで働いています。この恵まれた環境をPRし、首都圏在住の中学生やその親に三年間の留学をしてもらいます。その結果、大原高校の生徒数が維持でき、いすみ市がますます活性化するのはないかと考えたビジネスプランの概要がこちらの図になります。

我々はこのプランを、いすみ市の太田市長にも直接提案させていただくという、貴重な経験をするのもできました。今後、このプランの実現に向けての活動は後輩たちに託すことになりませんが、私自身もできることから地域貢献をしていきたいと思っています。



小さな掛金、大きな補償

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

スポーツ安全保険®

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

文化活動やボランティア活動等もご加入できます



保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

スポあんネット

パソコン・スマホで
だれでも、かんたん
便利に使いやすい！



インターネット
で簡単お手続き

公益財団法人スポーツ安全協会